

明治四十四年第十三師団秋季機動演習記念帖

明治40年10月、日露戦争後の軍備拡張で、歩兵第15旅団(新発田第16聯隊・村松第30聯隊)は第2師団(仙台)を脱して、第13師団(高田)の編組に入った。

この写真は明治44年、秋の機動演習記念帳で、撮影は当時新発田町の吉原写真館さんで(現在も駐屯地そばの神明神社通りに老舗の写真館として営業中で隊員の履歴書・証明書等の写真でお世話になっています)秋季機動演習に同行し、主に歩兵16聯隊(北軍)を撮影したものです。部隊は長岡へ進出する間、旅団演習を実施し、じ後高田地区に於いて師団演習に参加しました。

参加部隊は、歩兵第15旅団・歩兵第26旅団(高田歩兵第58聯隊・松本歩兵第50聯隊)及び野戦砲兵第19連隊、工兵第13大隊(小千谷)でした。写真は年月とともにセピア色となり不鮮明ですが、貴重な写真をご覧ください。

明治44年10月27日秋季機動演習のため新発田屯営を出発

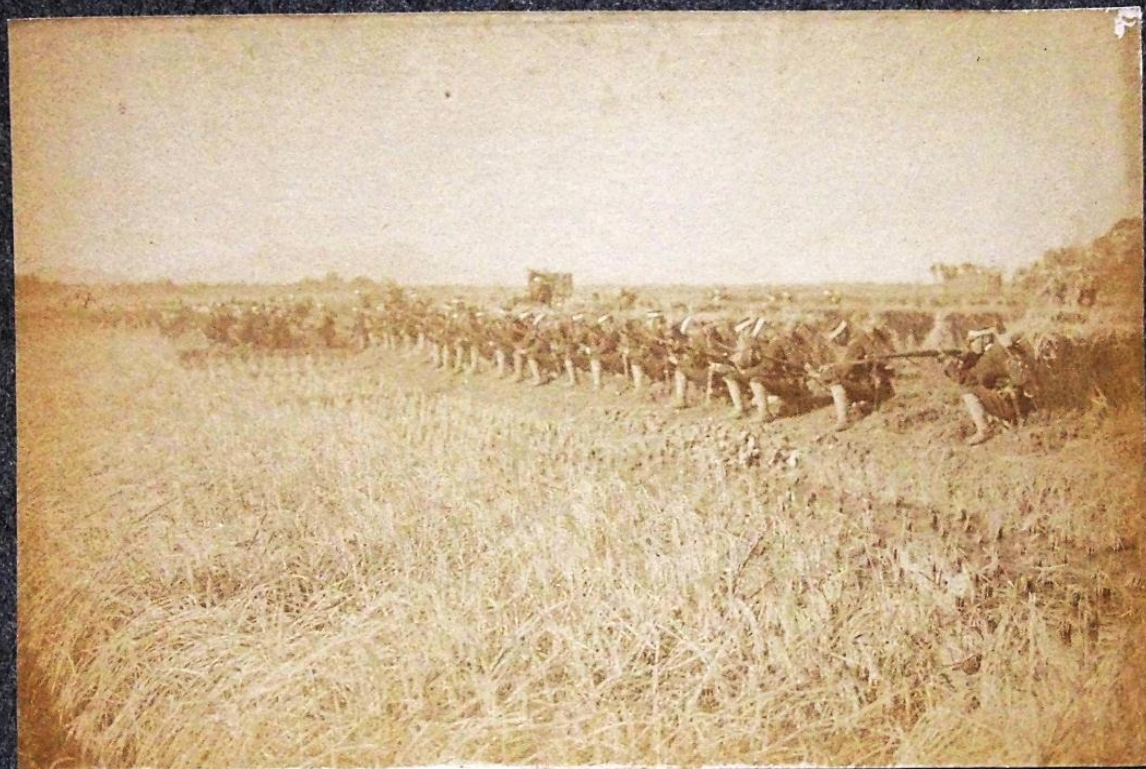


十月二十七日秋季演習爲屯營出發

旅団演習を実施しつつ、10月28日、南蒲原郡田上町大字羽生田附近において散開戦闘訓練中



秋李野外教練羽生田附近北軍散開戰鬥風景



10月30日、遭遇戦の訓練(突撃前進)



撃突、兵歩軍北近附屋ッ三昔月習演團旅

遭遇戦の終局(状況終了)



景先、局終戦遇遭近附屋ッ三昔月習演團旅

旅団遭遇戦における講評を実施中



旅団演習の講評の光景

10月31日、長岡北方 下條附近において追撃訓練中の機関銃隊



旅団演習の追撃訓練中の機関銃隊の光景

10月31日、敵を急追して、長岡長生橋に迫る部隊(手前右端に木橋の欄干が見えます)



旅団演習の講評(長岡のお寺の一角を借り実施中)

旅団演習の講評(長岡のお寺の一角を借り実施中)



旅団演習の講評(長岡のお寺の一角を借り実施中)

師団演習11月4日の遭遇戦訓練、(現)上越市薄袋(すすきぶくろ)に於いて



其開散ノ車北シテ於ニ戰遇遭近附袋薄^{四月}習演團師



其三 全

(現)上越市木田新田に於ける散開訓練、後方には稲架が写っています



師團演習四月廿五日新田に於ける北ノ原ノ散開

光景の突撃の田んぼに取られた



全突撃

11月5日、八斗蔴原(旧中郷村で現在の関山演習場附近)での攻撃前進



進前撃攻兵歩軍北トケ於、原蔴斗八吾^士習演団師

11月8日、師団演習での機関銃射撃訓練



撃射、銃関機軍北^八吾^士習演団師

11月9日、高田練兵場に於いて師団觀兵式に参加した、新発田歩兵第16聯隊の分列行進



列分、隊聯六十第兵歩ルケ於ニ式兵觀団師^{九月}習演用師

同、僚友聯隊 村松歩兵第30聯隊の分列行進



列分、隊聯十三第兵歩 全

11月13日、秋季演習を終了し、17日ぶりに新発田屯営に帰営した。衛門内側からの写真は珍しく、衛門外側は現在の西公園及び西園町一帯です。



「白壁兵舎広報史料館」に展示中です。

